



令和元年度秋さけ定置の推進

現地対話集会・漁業共済・積立ぶらすの加入・推進

七月一日～七月十八日まで全道八地区で開催された北海道定置漁業協会主催の「現地対話集会」に共済組合も出席させて頂き、秋さけ定置漁業の昨年度の「ぎよさい・積立ぶらすの加入状況」等を報告すると共に、本年度の引受の考え方について説明し、経営の後ろ盾として、ぎよさいと積立ぶらすの積極的な利用を呼びかけました。

平成三十年度の加入率（免許ベース）は漁獲共済で八十八%、積立ぶらすで八十三%と高い率を継続しており、共済金と積立ぶらすの支払合計額は一百八億一千万円になつたことを報告しました。

また、道内の定置漁業については、資源管理計画において、太平洋クロマグロ漁獲量の大幅削減に取組むものと道が認めた定置網が積立ぶらすの強度資源管理タイプの特例措置の適用対象となつたことから、平成三十年度の積立ぶらすの積立額・払戻額が増加したこと、令和元年度については、特例措置の適用対象となつた場合は、払戻



北見地区の現地対話集会

判定金額が前年度契約を下回らないよう措置されることから、漁獲共済と積立ぶらすを合わせることにより補償水準は維持されることを説明しました。
最後に、近年、自然災害が多発していることから、漁獲共済・積立ぶらすと併せ、漁業施設共済の加入についても検討いただきくよう依頼しました。

北海道漁業共済組合

平成30年度 秋さけ定置 漁業権免許と漁業共済・積立ぶらす 地区別加入率

地 区	秋さけ関係免許統数		漁 獲 共 済			積立ぶらす		漁業施設共済 (定置漁具)		
	第 13 次 免許統数	平成30年 操業統数	平成30年 加入 統 数			未加入統数	加入率	平成30年 加入統数	加入率	
			秋さけ定置	大型定置	計					
小樽	224	207	114	6	120	87	58 %	92	44 %	
桧山	35	27	27	-	27	0	100 %	27	100 %	
函館	198	179	132	34	166	13	93 %	154	86 %	
室蘭	40	39	39	-	39	0	100 %	39	100 %	
日高	46	46	46	-	46	0	100 %	46	100 %	
釧路	68	62	62	-	62	0	100 %	62	100 %	
根室	162	158	158	-	158	0	100 %	158	100 %	
北見	82	82	82	-	82	0	100 %	82	100 %	
稚内	51	50	48	-	48	2	96 %	48	96 %	
留萌	18	18	18	-	18	0	100 %	15	83 %	
合 計	924	868	726	40	766	102	88 %	723	83 %	
前年度 実 績			858	738	39	777	81	91 %	719	84 %
前年度 対 比			10	△ 12	1	△ 11	21	△ 3 %	4	△ 1 %
									6	1 %



北海道推進協議会 1,909億円、積立ぶらす 254億円 積立ぶらす 256億円、定置漁具 251億円を加入目標に

「ぎよさいと積立ぶらす」の普遍的な加入実現のため道庁及び在札系統団体の漁連・信漁連・基金協会道支所・共水連道事務所・共済組合で構成する「ぎよさい・積立ぶらす」北海道推進協議会の第一回会議が七月二十六日、札幌市第二水産ビル五階の共水連会議室で開催されました。座長である杉西紀元道水産林務部水産経営課長進行の下、平成三十一年度の重点推進項目の運動結果、地区別漁種別の「マーケットとぎよさい・積立ぶらすの利用率」等を報告、協議を行いました。また、令和元年度は過去の運動結果を踏まえ、補償額でぎよさい（漁獲+特定養殖）一千九百三十億円、積立ぶらす二百五十六億円、ぎよさい（定置漁具）二百五十一億円を目標に推進活動を実施する方針を確認しました。

議事では、平成三十一年度の運動成果等を説明し、漁業収入安定対策事業（ぎよさい掛金追加補助+新積立ぶらす）を活用し加入推進を行った結果、複数の漁協・漁種で新規加入が実現するなど、ぎよさい（漁獲+特定養殖）や積立ぶらすの実績は伸長し、平成三十一年度のマーケットに対する利用率は、夫々八十四%、八十一%となりました

が、一方で、利用率の低い漁種がいまだに存在し、漁協間の利用率の差も解消されておらず、又、定置漁具も掛金割引制度を活用し一部漁協で新規加入があつたものの利用率が低いままであることから、二十トン未満漁船漁業等利用率の低い漁種の加入拡大、ほたて貝養殖業の積立ぶらすを含めた利用率の向上、定置漁具の利用率の向上が求められていることが報告されました。

令和元年度の推進方策



最終年度を迎える『「ぎよさい普及推進全国運動」』、「ぎよさい」で安心「ぶらす」で万全』の取組みに連動し、「ぎよさい・積立ぶらす」北海道推進協議会と連携を図りながら、未利用地域の主要漁業・養殖業への計画的な推進活動を展開することと、さけ定置漁具の加入拡大を図り、この事業の一層の利用率の向上を目指すこととしました。

本年度の事業計画における重点推進項目は、①二〇トン未満漁船漁業等の加入拡大、②未利用地域における主要漁業・養殖業の加入推進、③ぎよさいと積立ぶらすのセット加入推進、④漁業施設共済（さけ定置漁具）の加入拡大の四点であり、制度・事業に対する理解を深めるため、研修会、説明会を開催することや、道、系統団体を含め課題の共有を図ること、資源管理等の機会をとらえた指導、推進をしていくことを確認しました。

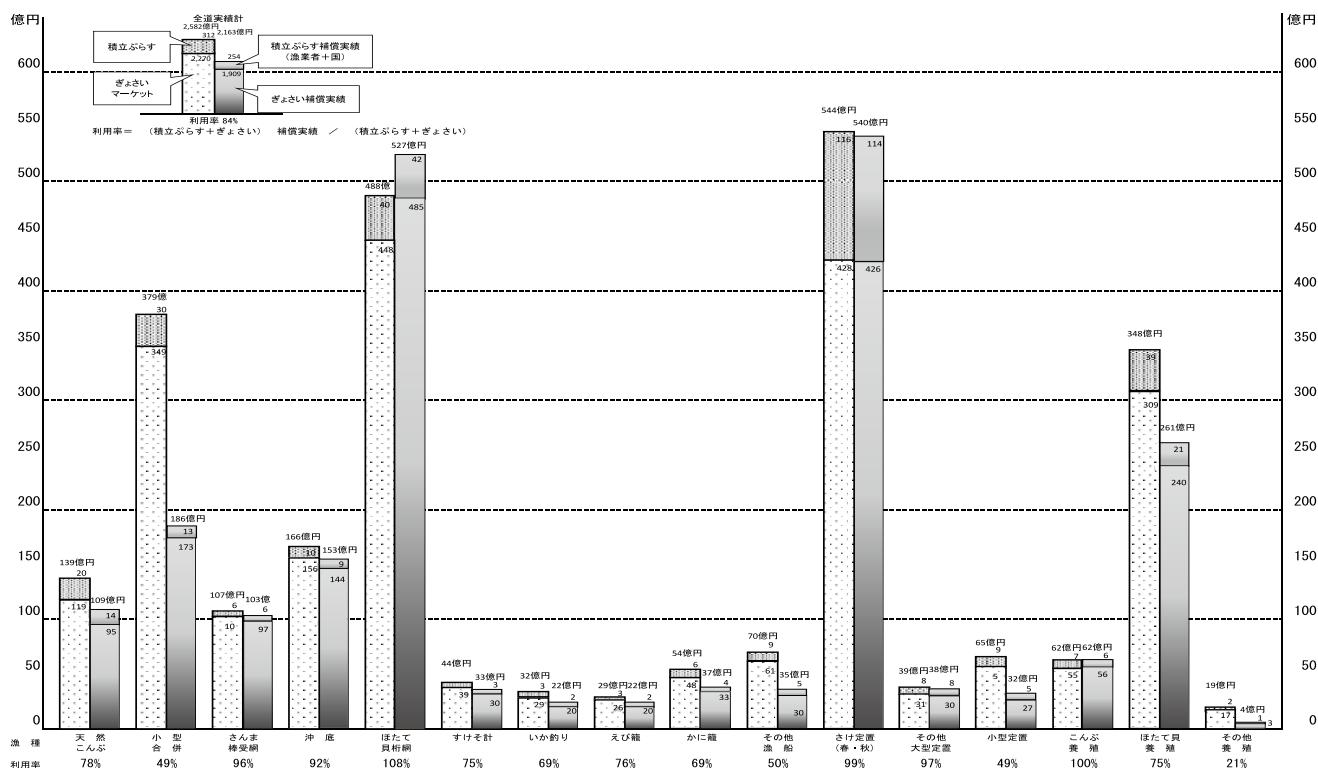




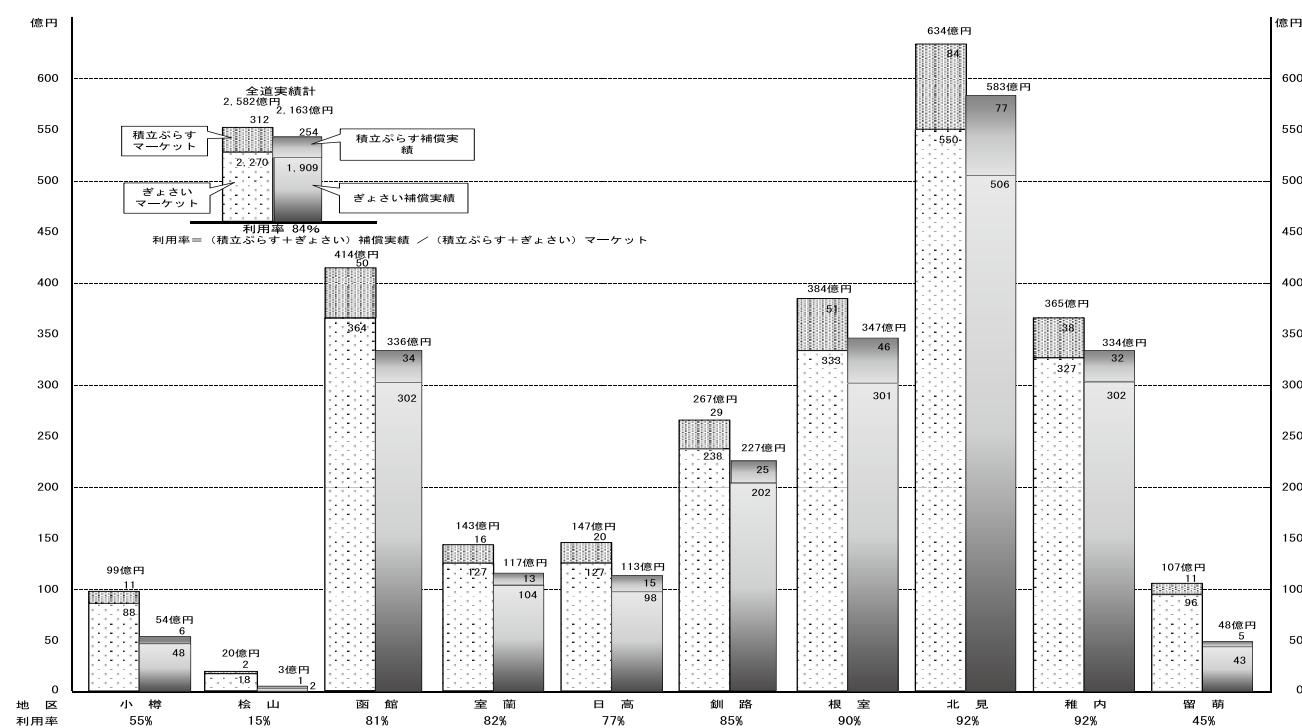
令和元年度第1回「ぎよさい・積立ぶらす」

平成30年度の加入実績はぎよさい 令和元年度はぎよさい 1,930億円

平成31年3月末 漁種別「ぎよさい・積立ぶらす」マーケットと補償実績



平成31年3月末 地区別「ぎよさい・積立ぶらす」マーケットと補償実績



令和元年度 漁業共済優績表彰

杉林 泰生 様

「令和元年度 漁業共済優績表彰者」が決定しました。

漁業共済優績表彰は、永年にわたり共済事故なく高度利用いただいている個人（契約漁業者）の中から、特に功績のあつた方々を表彰するもので、今年度は全国から「水産庁長官賞」で二十四名、「漁業連合会長賞」で一百五名の方々が受賞されました。

北海道からは、水産庁長官賞に二名、漁業連合会長賞に八名が受賞されております。

表彰を受けられた皆様に、心よりお祝いを申し上げますと共に、今後の大漁と益々のご活躍をお祈り致します。

《優績表彰者》

◎水産庁長官賞

山中 孝俊
(日高中央 小型合併漁業)
有限会社 駿河漁業
(えりも 小型合併漁業)

◎漁業連合会長賞

加藤 誠
(北るもい 小型合併漁業)
福田 郁
(北るもい 小型合併漁業)
石塚 公次 外1名
(宗 谷 さけ大型定置漁業)
長谷川 一敏 外1名
(北るもい さけ大型定置漁業)
杉林 泰生
(南かやべ こんぶ養殖業)
中村 孝
(南かやべ こんぶ養殖業)
千葉 勝昭
(南かやべ こんぶ養殖業)
新山 与五郎
(船 泊 こんぶ養殖業)
順不同 敬称省略

長谷川 一敏 外一名 様



石塚 公次 外一名 様



有限会社 駿河漁業 様



新山 与五郎 様



千葉 勝昭 様



中村 孝 様



表彰式では、水産庁長官賞受賞者に対し、長谷長官から直接表彰状が手渡されました。

写真は、日高中央漁協の山中孝俊様（左）と長谷長官（右）。

